

カバンの基本にして究極! トートバッグのすべてがわかるこだわりの一冊!

# monoSTYLE

# カバン・モノ

## メッセンジャーバッグ最前線

街中を駆ける自転車に似合うカバン、それがメッセンジャーバッグだ。達人たちが語る魅力から注目モデル全掲載まで、最新情報満載!

## モノスタイル カバン・モノ

WORLD M O O K 平成22年8月20日発行(通巻835号) ワールド・ムック835

No. 6

特集

いまあらためてこのエヴァーグリーンなカバンの魅力にとことんハマる!

# トートバッグ TOTE BAG!

【カバンLOVE&LOVE】

鈴木博文さん(ムーンライダーズ)登場!

【コラボカバンプロジェクト】

犬印鞆製作所、ホクタン、ルートートと期間限定でコラボカバンを限定販売!

【社長のカバン】ライカカメラ社オーナー

アンドレアス・カウフマンさん





取っ手部分はシートベルト素材をふたつ折りにしたもので長さ調整可能。取っ手がアーチ状態を保持するので運転席から上半身をひねり、後部座席からバッグを持ち出す、なんて時にも好都合だ。付属する保冷ポーチはサーモスの水筒に冷えたコーヒーを入れ、おむつ替えパッドはレジャーシート代わりに使うのが独身ドライバースタイルだ。「dad'cco パパシリーズ トート」価格1万4700円。

Tote Bag



## DAD'CCO "PAPA" SERIES TOTE

ダディッコ/トート

### ドライバーズシートの即戦カトート、みつけた

「オトコの子育て」というと、カミさんに逃げられた的な悲壮感があったものだが、それはもはや昔ばなし。今どきの父親は、母親よりも子供のファッションにうるさく、友人よりも子供と外出することを楽しんでいる。いまや子育てはオトコの楽しみ、趣味なのだ。

dad'cco (ダディッコ) は、自動車素材を利用した子育て商品を開発する、ちょっとユニークなブランド。たとえば、このトートバッグ。持ち手、ショルダー、開口部に自動車用シートベルト素材を使用しているのだが、大容量を飲み込む大型トートと強度に優れるシートベルトの相性はいうまでもない。トートの中には、離乳食を入れる保冷ポーチ、広げれば新聞サイズのオムツ替え用のパッドも収まる完全育児仕様。なのに、まるでミルク臭くないデザインはなるほどオシャレな父親、いまだ

きのダディ仕様というわけ。

でもこのトート、じつはドライバーにもオススメだ。というのも、抱っこしながら、片手でサッとモノを取り出せるように工夫された育児スタイルが実にドライバー向け。たとえば、信号待ちで手帳を取り出す、路肩にとめて不意の着信に対応する、車内に散らばるモノを一気に放り込んで座席をあけるなんてシチュエーション。つまり、クチを開けて自立するトートスタイルが収納スペースの少ないクルマの大型コンソールボックス代わりになる。

入手してから3ヶ月。クルマの試乗会や発表会で知り合いを見つけては「子供はいる？ そんなアタッシュェ、クルマの中じゃ使えないでしょ」と、このトートをみせてはデモンストレーションしまくりなモノ・マガジン乗り物担当であります。あ〜ウチも子供がほしい。



試乗会の時は必ずコレ



モノ・マガジン乗り物担当の取材時の持ち物。メモがわりのデジカメ、保冷水筒、見

本誌、ケータイ(×2)、それに運転用&普段用メガネにサングラスなど。これらを入れてもまだまだ余裕をみせるキャパはさすが育児バッグ。色はこのほかにベージュ、ベージュ×ブラウン、ブラック、ブラック×ライムグリーンを用意。サイズ:幅450×高さ350×マチ170mm 重さ:890g

こちらは全面シートベルト素材

ラインナップでも特に人気の「ミニショルダー」こちらは全面にシートベルト素材を採用。編み込みによる独自の光沢とメタルのリングが好相性。前面にポケットつき。サイズ:幅80×高さ220×マチ85mm。価格9450円。



※現在リニューアル中でニューバージョンは今秋発売予定。

ブランド名「dad'cco」は新米ダディを応援するという意味で父(ダディ)とコドモから生まれた。使用するシートベルト素材は日本製にこだわっている。

